

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

確かな計測技術で、新たな価値を創造し、豊かな社会の実現に貢献する

売上高
200億円経常利益
29.5億円当期純利益
20.0億円ROE
10.0%

② 中長期の経営戦略

1. 収益基盤の強化

既存技術を活用した派生製品・リニューアル製品開発。電池式クラ
ンプオン超音波流量計など新製品展開。設計・生産方式・サプラ
イチェーンの見直し。中国子会社の設備投資による増産体制強化

3. アジア市場の強化

東アジア・ASEAN地域を重点地域として展開。各子会社・代理店の
販売チャネル強化。グループ体での受注拡大

2. 戦略的投資による成長

技術・ノウハウの関連分野活用。社内ベンチャー制度で新事業創出
。スマート封印システム「Lock'n Lorry」などの新製品開発。M&A
による事業拡大

4. SDGs・脱炭素対応

水素計測用流量計・アンモニア計測用流量計のラインナップ。水素
サプライチェーンの流量計測・校正対応。2026年3月期中に水素専
用校正設備「OVAL H2 Lab」稼働予定

③ 対処すべき課題

① 経営環境の不透明性

- ・ 欧米の高金利継続、地政学リスク、中国経済成長鈍化への対応
- ・ 国内では人件費上昇による物価高、米国政策動向に伴う貿易環境の不確実性への対応

② 経営効率と収益力向上

- ・ 既存技術活用による主力製品ラインナップ拡充
- ・ 内製化と自動化追求、製品ポートフォリオ見直しで工場稼働率改善
- ・ 設計・生産方式・サプライチェーン見直しによる品質・納期・コスト改善

③ 資本効率とPBR改善

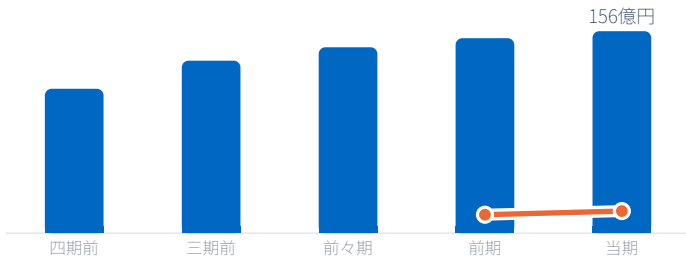
- ・ ROE10%以上達成に向けた成長戦略・経営基盤強化・財務戦略の推進
- ・ 総還元性向70%以上、DOE2.7%以上の実現
- ・ IR戦略強化による投資家との情報発信充実

面接で使えるポイント

- ・ 計測技術からセンシング・ソリューションまで事業領域を拡大し、アジアNo.1を目指す経営戦略
- ・ 水素計測用流量計やスマート封印システム「Lock'n Lorry」など、脱炭素化や社会課題解決の新製品開発
- ・ 2032年度200億円売上・ROE10%達成に向けた、人財育成とDE&I推進による組織基盤強化

証券コード 7727

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに

1949年設立の精密機器メーカーであり、東京を本拠地とする上場企業

主力事業・セグメント

・精密機器（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・営業利益率10.9%の安定した収益性

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
156億円営業利益率
10.9%財務健康度
59点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 48.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収
695万円

精密機器内 22位/50社

平均年齢
43.9歳

精密機器内 20位/51社

平均勤続
16.6年

精密機器内 13位/51社

女性管理職
3.4%

精密機器内 34位/39社

男性育休
83.3%

精密機器内 17位/35社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: (株)オーバル【7727】：決算情報

